



mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



伊里の春に虹の架け橋



15日は「春の嵐」とでも言うべきお天気でした。

日中は暖かかったのですが、風は強く、自転車置き場の自転車も何台も転倒していました。下校時にカバンカバーや手袋が風で飛んでおり、大わらわで探す姿も。

そんな放課後、下校指導に出て、ふと山の方を見ると、そこには見事な虹が！ここまでクッキリと、半円がしっかり見えるのも珍しいです。

どうか写真でもハッキリわかりますように…まさに伊里の野に春が来て、新しい季節へ、新しい生活へとつなぐ架け橋のようでした。



工事も (やっど) 大詰めです



今年度本当に工事三昧でいろいろご迷惑をかけました。こちらも正直、本っ当～～～に大変でした。トイレ工事、門扉工事、防水工事に続き、やっどフューチャールーム、グラウンド工事でもドが立ちました。長かった… (魂の叫び)。

ご覧のようにフューチャールームでは、大型電子黒板やディスクセットなども搬入され、今や遅しと出番を待っています。グラウンドも、土の搬入が終わり、ていねいに傾斜をつけ (水はけをよくするため)、整地に入っています。この上を走り回れる日もすぐそこです。もうしばし待たれよ。





卒業生が奉仕作業にやって来た！



16日、9時から卒業生の有志が来校し、1年間過ごした教室のワックスがけを中心に、奉仕清掃作業を行ってくれました。取材に行くと、わずか2日振りにも関わらず、「お久しぶりです～」とのあいさつも（笑）。しかし、それを自然に受け入れてしまえるのも、「卒業」のもつ力なのでしょうか。

参加してくれた19名、ステキな笑顔で作業してくれました。ありがとう。

ポリシャーの扱いは難しく、コードを本体に巻き付けさせたり、暴走させたりと、だいたいそんなシーンを見せてくれるので、期待（苦笑）してカメラを向けていると…まあ上手なこと上手なこと。

これも3年間の継続の成果なのでしょうね。ある男子は、「3年やってますから」と、まるでWBCの4番バッターの筒香選手のような落ち着きぶりで私に語ったのでした。おみそれしました！

そして写真のように、ピッカピカに磨き上げてくれました。この教室をまた次の3年生が使います。いろんなものがこうやって引き継がれていくのですね。

どうせ引き継ぐのなら少しでも美しく…そうしようとする心こそが美しいのかもしれない。

1・2年生のみんなも、ぜひ美しい心で、次の学年に引き継いでいってください。



二十四節気 啓 蟄

次候「桃始めて笑う（ももはじめてわらう）」3月10日～14日頃

桃のつぼみがほころび、花が咲き始める頃。花が咲くことを、昔は「笑う」と言っていました。



末候「菜虫蝶と化す（なむしちょうとかす）」3月15日～19日頃

冬を過ごしたさなぎが羽化し、蝶に生まれ変わる頃。柔らかな春の日を浴びて、羽が瑞々しく輝きます。



二十四節気 春 分

春分とは、太陽が真東から昇り、真西へ沈む日のこと。昼と夜が同じ長さになる春分の時期を、二十四節気の大きな節目の一つとします。

初候「雀始めて巣くう（すずめはじめてすくう）」3月20日～24日

雀が枯れ草や毛を集め、巣をつくり始める頃。瓦の下や屋根の隙間など、ひよっこ顔をのぞかせます。

